

(囃中の略歴)

元祖 暫

下総佐倉在畑矢村の農

堀越重蔵が子海老蔵

十四才にて歌舞伎に入り

段十郎後に團十郎と改む

俳名を才牛と称して椎が本

才麿の門なり宝永元年

故あつて没す

二代目 矢の根五郎

初名九蔵元禄十七年二代

目團十郎と成る其角が門

に入て俳名を三升と云享保

二十年父の幼名を続で海老

蔵と改め栢莚とよぶ宝曆

八年九月七十二歳

にて卒す

三代目 ういらう売

三升屋助十郎の子にして

栢莚の養子となり幼名

升五郎享保二十年三代目

團十郎と改名寛保二年

養父と共に上坂し病に

罹りて江戸に帰り早世す

七代目 不破伴左衛門

白猿の孫初名新之助後に

海老蔵寛政六年の顔見世

四才にて初舞台同十二年七

代目團十郎と

改め俳名夜雨庵三升と

称し深川木場の別荘に住す

八代目 助六 花川戸の助六

夜雨庵の実子幼名新之助又

海老蔵天保三年八代目團十郎

三升と成る父に孝養厚くして

官より褒金を賜り看客の晶

負を蒙るは歴代中第一なり

嘉永七年八月六日故あつて

大坂の旅舎に終る

九代目 勸進帳 弁慶

七代目の五男幼名團栗といふ

座元河原崎の養子となり

長十郎後に権十郎又権之助と

改め俳名紫扇と云明治七年芝

金杉に河原崎座を再興し実

家を継で九代目團十郎三升

と成る明治十二年官令に従

ひ本名堀越秀と称す

五代目 平義門

五粒の実子松本幸藏後に

幸四郎明和七年五代目

團十郎と改め後に鰈藏

俳名反古庵白猿狂名

花道のつらね寛政八年

隠遁し同十二年再勤享

和二年五月十一日没す

六代目 象引暫 山上源内左衛門

白猿の実子幼名徳藏後に

海老藏寛政三年父團十郎

鰈藏と成て團十郎を相続す

俳名三升俗に小玉と称さる

同十一年五月十三日新年

廿二才にて卒す

四代目 解脱 景清

松本七藏後に二代目

幸四郎柏庭の聲

なるに因て宝暦四年團十郎

の名を嗣ぎ三升と称す後に

海老藏海丸ともいひ又五

粒といふ明和七年再び松本

幸四郎に復せり

柳亭種彦筆記